



2026年4月23日

各位

会社名 株式会社テラスカイ  
代表者名 代表取締役CEO社長執行役員 佐藤 秀哉  
(コード:3915、東証プライム)  
問合せ先 取締役CFO専務執行役員 塚田 耕一郎  
(TEL. 03-5255-3410)

## 2026年2月期 決算説明書き起こし記事公開のお知らせ

先日配信いたしました2026年2月期決算説明動画につきまして、投資家向け情報サイト「ログミーファイナンス」にて、全文書き起こし記事が公開されましたのでお知らせいたします。

本記事では、代表取締役の佐藤による説明内容を、投影資料とともにテキスト形式でご確認いただけます。動画の視聴が困難な環境での内容確認や、特定のキーワードを検索しての閲覧にぜひご活用ください。

- ログミーファイナンス 掲載ページ

<https://finance.logmi.jp/articles/384319>

公開日: 2026年4月23日

【関連リンク】2026年2月期

- ・ 決算説明資料  
<https://www.terrasky.co.jp/ir/library.php>
- ・ 決算説明動画  
<https://youtu.be/yR6fHAe9WFw>

以上

(別紙)

## 【書き起こし要約】

昨年度の先行投資により、飛躍のための礎は整いました。AI および量子コンピュータ時代のリーダーとして、高い成長目標を確実に完遂してまいります。

### 1. FY26 業績実績・投資をこなしつつ最高益を更新

昨年度(FY26)は積極的な先行投資とグループ再編を断行しながら、売上高・営業利益ともに堅調な成長を達成しました。

トピックス： NTT データさまとの協業組織が始動、みずほ銀行(旧みずほリサーチ&テクノロジーズ)さまからのライセンス事業譲受など、収益基盤を拡大。

### 2. FY27 業績予想:利益率改善によるジャンプアップ

今年度(FY27)は「投資の回収フェーズ」と位置づけ、大幅な増収増益を見込みます。

増益要因： NTT データさまとの協業深化(目標 20~30 億円)、不採算事業の整理完了、および価格転嫁による利益率向上で、目標達成への確度は高い。

### 3. 中長期戦略:AI 時代を見据えた事業モデルの転換

開発の省力化を推進し、上流・AI 領域へのリソース集中を図ります。

- 上流コンサルティングへの注力： AI による開発自動化を見越し、人員を「設計・開発」から「戦略・業務コンサル」へシフト。昨年度より既に戦略コンサル領域まで対応可能な組織を立ち上げ。
- AI 事業の 3 つの柱：
  1. AI 導入・業務コンサル： 業務プロセスに AI を組み込み、人間が関与すべき箇所を定義(ヒューマン・イン・ザ・ループ)。
  2. プラットフォーム： 自社製品「mitoco Buddy」等の提供を通じ、AI 活用の基盤を担う。
  3. AI 駆動開発： 自社内の開発工程に AI を徹底導入し、短納期・高品質・低コストを実現。
- 次世代技術への布石：
  - ・ 量子コンピュータ： 子会社 Quemix において、実用化に近いゲート型量子コンピュータの活用研究を推進。今年度の単年黒字化を視野に入れる。
  - ・ セキュリティ： Google Cloud から世界的な表彰を受けたリベルスカイを通じ、AI・量子時代に不可欠なセキュリティ領域を強化。

### 4. 組織強化と株主還元

- 拠点・採用： 2027 年 8 月、東京駅地下直結の「TOFROM YAESU TOWER」へ本社を移転し、グループの集約を予定。今後も継続的な人員拡充を進め、開発・連携体制を最大化。
- 広報・PR： YouTube「TerraSkyTV」を日本 No.1 の IT チャンネルへと育て、テクノロジーのトレンド発信と認知向上を図る。
- 配当： 累進配当方針に基づき、17.00 円へ増配予定。